



鶴見 義明

① 日本共産党議員団

② 会沢町 5 3 6 ー 1

③ (85) 3 6 8 7

④ 新型コロナウイルス感染症も若干落ち着き、地域経済も上向き傾向といわれています。一方で諸物価の高騰は私たちの暮らしを苦しめています。

地方自治法では「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本」としています。佐野市では新たな開発事業が計画されていますが、限られた財源で何をすべきかを考えなければなりません。開発優先か、住民の暮らし・福祉を守るかが優先かを今後も問い続けてまいります。



小暮 博志

① 政友みらい

② 馬門町 1 5 9 7

③ (23) 8 2 6 3

④ 新型コロナウイルス感染症への対応も5類に引き下げられましたので、今年は、他の感染症にも注意を払いながら、不安定な国際情勢の中、色々な活動を積極的に進めて行かなければならない時に来ていると思います。

萎縮した精神は全ての活動を低下させます。経済の低下は幸せの低下を招き、体力の低下は健康の低下を招くと考えます。千里の道も一歩から、の言葉があります。より良い明日を目指して頑張っております。



山菅 直己

① 政友みらい

② 葛生西 3 ー 1 2 ー 7

③ (85) 2 6 4 5

④ 選ばれる佐野市を目指し、出産から子育て、学校教育まで一貫した環境の充実を進め、高齢化社会を見据えた健康寿命の延伸を図ります。

産業団地造成や地場産業の振興に取り組み、就労場所の確保を図り、異常な気候変動による災害に対応できる整備を進めます。人づくり・夢のもてる街づくり・心の通い会える街づくりをモットーに、市民の皆様と共に安全で安心して暮らせる街づくりに全力で取り組みます。